

令和 7 年度上伊那圏地域自立支援協議会議事録

会議	部会名 第 3 回 精神障がい者等地域生活部会	日 時 令和 8 年 2 月 5 日(水) 13:30 ~ 15:00
	会場 伊那市まちづくりセンター	参加者数 37 人
主 テ ー マ	<p>(1)「にも包括ってなに？」 精神障がいの人を地域でどう支えるのか一緒に考えませんか？</p> <p>(2)グループワーク テーマ:繋がる。 自分のケースに置き換えて想像しましょう</p>	
	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にも包括とは、精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムとして、精神障がいの有無や程度に関わらず誰もが安心して自分らしく生活できる体制を構築することである。 ・地域で支える仕組みを作り、共生社会の実現をしていくにあたり、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労など)、地域の助け合い、普及啓発(教育など)を包括的にサポートし、市町村ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポーター、家族、居住支援関係者などとの重層的な連携による支援体制を作ることが重要である。 ・市町村単位で協議の場の設置状況は、設置している市町村と設置していない市町村は半々である。協議の場を設置していない背景として、実施主体が定まらない、保健・医療・福祉関係者で、開催意義や目的等について共通理解ができていない、既存の協議会を活用しており、協議の場の設置の必要性が高くない等の回答があった。 <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員も関わってもらいたいと考えているが、多職種にどのように繋がっていけばよいのか。 ・精神障がい者と介護のはざまの支援が難しい。 ・地域の理解はあるのか。孤立している人もいる。 ・制度関係なく様々な人に繋がる体制作りが難しい。 ・精神保健、本人のみならず家族、事業所、行政としても地域で検討する場所が必要。 	
ま と め	<p>ケアマネジャー含め、初めて部会に参加した人が多かった。今回は「にも包括」を知ってもらい、自分の意識を変える一歩になったと思う。</p> <p>地域で暮らすために、どのような事が必要なのか、今後も話し合いを重ねていけるとよいと感じた。</p>	
次回	未定	